

スイートピー新品種「紀州ピー2号」 及び「スイートルージュ」の育成

暖地園芸センター

研究のねらい

スイートピーを利用する時には多くの花色が必要です。そこで、「紀州ピー1号」（通称：「フライダル・ピンク」）に続き、新たに栽培しやすく、利用しやすい花色の「紀州ピー2号」（通称：「キャンドル・ピンク」）と「スイートルージュ」を育成します。

研究の成果

- ① 「紀州ピー2号」は1995年「アーリー・ホワイト」とサーモンピンクの「ミセス・ダグラス・マッカーサー」の交配により、そして、「スイートルージュ」は「アーリー・ホワイト」と濃赤色の「アメリカン・ビューティー」の交配により、開花が早い品種として育成しました。
- ② 「紀州ピー2号」は「マッカーサー」より淡いサーモンピンクで、「スイートルージュ」は旗弁と翼弁の紫ピンクの濃淡が異なります（表1、図1）。
- ③ 「紀州ピー2号」は9月上旬に15日間冷蔵した種子を播種すると12月下旬に、「スイートルージュ」は9月上旬に22日間冷蔵した種子を播種すると12月中旬に開花します（表2,3）。

成果の活用面・留意点

- ・年内に開花させるには、「紀州ピー2号」では15日間程度、「スイートルージュ」では20日間程度の種子冷蔵が必要です。
- ・今後、県内の生産者に普及を図ります。

表1 「紀州ピー2号」と「スイートルージュ」の生育・花色特性

品種名	収穫開始日 (月/日)	初収穫節位 (節)	花柄長 ^{a)} (cm)	小花数 (輪/本)	花色 ^{b)}		収穫 ^{c)} 本数 (本)
					旗弁 (JHSカラーチャートNo.)	翼弁 (JHSカラーチャートNo.)	
紀州ピー2号	1/18	29.4	44.7	3.9	紫ピンク(9703)	淡紫ピンク(9702)	23.4
スイートルージュ	2/20	50.8	46.1	3.7	鮮紫ピンク(9204)	淡紫ピンク(9202)	22.7
マッカーサー	1/21	42.6	46.2	3.2	鮮ピンク(0104)	鮮ピンク(0104)	21.6
アメリカン・ビューティー	1/25	32.0	40.4	3.7	濃赤(0408)	鮮紫赤(9707)	23.0
アーリー・ホワイト	2/11	40.3	42.0	5.3	黄白(2701)	黄白(2701)	24.7

耕種概要：は種日：2002年9月10日、種子冷蔵期間：0日間、日長：自然、最低夜温 5℃、1株仕立て、株間15cm、条間60cmの2条植え、施肥：和歌山県栽培指針に従う
a): 開花5番目の花柄長 b): JHSカラーチャートに従う c) 参考：種子冷蔵15日間の場合の収量

表2 種子冷蔵期間の違いによる生育、品質への影響（「紀州ピー2号」）

冷蔵日数 (日)	花柄長 (cm)	花柄径 (mm)	小花数 (輪/本)	初収穫節位 [*] (節)	収穫開始日 [*] (月/日)	落蕾率 ^{**} (%)
0日	42.5	3.2	3.8	29.3	12/30	4.4
7日	42.5	3	3.5	23.8	12/26	3.2
15日	43.9	2.9	3.6	19.2	12/23	0.8
22日	41.8	2.9	3.8	19.8	12/10	0
30日	41.8	3	3.3	18.4	12/11	0

*: 草丈が1m以上になるまで摘蕾を行った。
**: 1輪以上落蕾した本数/全体の本数×100(%)
2001年9月10日 播種、自然日長、最低夜温 5℃

表3 種子冷蔵期間の違いによる生育、品質への影響（「スイートルージュ」）

冷蔵日数 (日)	花柄長 (cm)	花柄径 (mm)	小花数 (輪/本)	初収穫節位 [*] (節)	収穫開始日 [*] (月/日)	落蕾率 ^{**} (%)
0日	43.4	2.9	3.6	50.8	2/28	16.3
15日	46.1	2.9	3.7	21.2	1/4	3.5
22日	36.4	2.8	2.5	17.4	12/20	2.5
30日	33.1	2.7	2.1	15.9	12/16	1.3

*: 草丈が1m以上になるまで摘蕾を行った。
**: 1輪以上落蕾した本数/全体の本数×100(%)
2001年9月10日 播種、自然日長、最低夜温 5℃



図1 「紀州ピー2号」(左)と「スイートルージュ」(右)

(問い合わせ先：0738-23-4005)